

第1回運営委員会 4月29日(土)



1部『総会』2部『みんなで語ろう!』

長く続いたコロナ禍。思うように活動できなかったからこそ、今、あらためて皆で「ボランティアの良いところ」を見つめ「今後の課題」と向き合いました。

次世代にどう引き継ぐか…高齢化が大きな課題の中、時代の変化や社会情勢に伴ってボランティアの形や活動のあり方も変容している。「今後は時代に即したボランティア活動を模索することが重要」との声が挙がりました。

バス研修会 8月29日(火)



筑波宇宙センターJAXSA見学

テレビの世界でしか知らなかった管制室や、宇宙と交信している現場の職員に会えて興奮しました。想像を絶する訓練を経てパイロットになることも。ロケットを飛ばす意味は「医療や生活の安全のため」進歩に繋がっていることを知りました。【参加者の感想】*宇宙が身近に感じられた。*勉強になった「きぼう」をアプリで見えます。*皆さんの笑顔に合せて良かった♡

「市民活動発表会2023」11月19日(日)



～つたえるひろがる、私たちの活動～

ヴィズコロナの生活様式に合わせた内容で、4年ぶりに開催されたイベントとしてV連では車イス体験やピクトグラムタイズなどの体験コーナーで参加しました。

【参加者の感想】*坂道は、野っている人がケガをしてしまうから、後ろ向きで押すことがわかりました。*普段見ているように見たことのないマークを勉強できてよかった。*楽しかった!



第2回運営委員会 12月3日(日)



1部『4月～12月の活動報告』 2部『車イスの講習会』

佐倉市社会福祉協議会の岡本一成氏を講師に迎え、障がいのサポートや高齢社会が進むにつれ使用機会が増えるであろう車イスについて「正しい車イスの使い方」や「機能」について学びました。ボランティア活動の一助になればと実施しました。【受講者の感想】*車イスの扱いは難しい。*坂道の降り方で、後ろが見えず乗っているほうも怖かった!

予告 第42回ボランティアのつどい

日時：令和6年2月11日(日・祝) 10時～13時
会場：志津コミュニティセンター

里山でつながる・めぐる
～環境・人・いのち～

- ★「環境」と聞いてイメージすることは?
- ★里山で活動されている方々のお話
- ★プチ里山体験
- ★とりかえっこ(リユースをはじめよう!)
みんなで環境の事、考えてみませんか?

第42回ボランティアのつどい



2024年2月11日(日・祝)
10時～13時(受付9時30分～)
於：志津コミュニティセンター 大ホール

※本会はボランティア活動の発展に努め、社会福祉の向上に貢献することを目的として、ボランティアの活動を支援することを旨として活動しています。

TEL: 043-34-4168 FAX: 043-482-2318

予告 障害者作品展「ふれあいギャラリー」に協力

日時：令和6年2月23日～25日(金～日)
会場：佐倉市立美術館3階市民ギャラリー

佐倉で活動されている障がいのある方が創作した絵画、書道、写真、手芸、陶芸などの発表の場として、また、市民の方に障害を知り理解する機会となることを目的としています。

心のこもった素敵な作品が多数展示されます。是非ご来場ください。



リモート交流会 随時

身近な話題「健康について」をテーマに、会員の方々と交流しました。また、ボランティアについて語り合い共有することで、新しいアイデアも浮かびワクワクした気持ちになりました。



編集後記

長いコロナ禍の中で、ふれあいの機会も制約されてきました。やっと制限が緩和されボランティア活動も少しずつ動き出す中、傾聴ボランティアでは、自分の想いを伝えたい、聞いてもらいたいという気持ちを持っていること、手話サークルでは、手話を通して聞こえる人も聞こえない人も対話を楽しんでいることがわかりました。

人は他者との交流を通じてこそ自分を表現できるのですね。

H.N



使用済み切手 回収しています!

放っておけば捨ててしまう使用済み切手。たくさん集め整理し、業者の方に買ってもらいます。買い取り金額はわずかですが、それを社会福祉協議会に寄付しています。ご協力よろしくお願致します。

【回収設置場所】西部・南部福祉センター、白井・志津・ユーカリが丘郵便局、商工会議所、志津コミュニティセンター、千代田ふれあいセンター、佐倉市社会福祉協議会